

学校だより

光輝燦然

～ 磨け！自分の色 ～

第38号

令和4年12月15日（木）発行 発行責任者 校長 馬場廣明

新春書道展、席書大会への出場者が決まりました！

第62回新春書道展・席書大会の一次審査の結果、参加者数307名・通過者数149名となりました。本校からは以下の6名の生徒たちが一次審査を通過し、本大会への出場が決まりました。学校の代表として、自分の堂々とした書体を用紙に書いてください。大会当日は私も会場にお伺いし、本校生徒を応援・激励させていただきたいと思います。

日 時： 令和5年1月7日（土）

第2部（中学生） 13：00～14：20

場 所： 須賀川アリーナ

課 題： 1年生「平和友好」、3年生「歓喜の声」

参加者： 1年生：●●●●(2)、●●●●(2)、●●●●(3)
●●●●(3)

3年生：●●●●●(1)、●●●●●(2)

※（ ）はクラスを示します。

なお、大会参加等、詳細な内容につきましては、担当の先生より6名の生徒に連絡があるかと思えます。まずは健康管理に気をつけベストな状態で本番を迎えてください。

また、残念ながら出場できなかった生徒たちの分まで頑張してほしいと思います。

昨年度1年生時に出場した2年生女子生徒がいます。今回の席書大会に向けてとても頑張っており、私に会うたびに「次の席書大会では昨年以上に頑張りますので。」と強い意気込みを話してくれてました。しかし、審査の結果、今回は残念ながら大会への出場権を得ることはできませんでした。その女子生徒が私に言った第一声が「校長先生、すみません。選ばれませんでした。」です。とても寂しいような顔で、何て声を掛けてあげたらいいのか戸惑ってしまいました。「次また頑張ればいいよ。」が精一杯の慰めの言葉でした。でもこの女子生徒は必ず今回のことで、一回りも二回りも大きく成長してくれることも確信できました。この生徒は女子卓球部の部長を務め、責任感がありいつも笑顔で明るい生徒です。そうした生徒のがっかりした表情が今も脳裏に残っていますが、その反面、次に向けての意気込みが感じられた表情でもありました。これからもずっと応援しています。頑張れ！！



冬休みまであと1週間となりました。

先日、保護者の皆様に配付いたしましたプリント「冬季休業中の生活についてのお願い」にも掲載されていますとおり、

12月24日（土）～1月9日（月）までの17日間

が冬休みとなります。その間、クリスマスや年末年始（年越し・お正月）とご家族で過ごす楽しい行事がたくさん待ち受けています。その反面、そうした行事によってあつ

という間に冬休みは終わってしまいます。ぜひ一日一日の生活や過ごす時間と、いつも以上に大切にしてほしいと思っています。特に3年生は受験生でもあります。この冬を乗り切れば暖かい春が待っています。この冬こそ最終の頑張り時です。体調を万全にし、計画的に受験勉強を進めてください。

なお、事故防止の観点から以下の点に注意するようご家庭での声掛けをお願いします。併せて、いくら勉強をしても病気のやけがをしてしまえば、その力は発揮できません。事故防止も含め、この冬休みは慎重にやりたいことも今回は我慢をしながら、毎日の生活を送る必要があります。



- 1 交通事故の絶無に努める。自転車に乗る場合は、ヘルメットを着用する・並進運転をしない・降雪や積雪時は乗らないなど、十分に注意させてください。
- 2 外出時は日が暮れるのも早いので、暗くならないうちに帰宅するようお声掛けください。
なお、学習塾等の習い事につきましては、保護者の責任のもと、ご指導をお願いします。
- 3 アミューズメント施設（ゲームセンター等）には保護者同伴で行くことと指導しています。
- 4 携帯電話等を利用しての、SNS・掲示板への書き込みは絶対にさせないでください。大きなトラブルになることが予想されます。
- 5 新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、今後も感染しないようご注意ください。

◎ 緊急な用件・事故発生時には、学校または、学校休業日（12／29～1／3まで）は学校用携帯電話まで（教頭対応）ご連絡をお願いします。併せて、交通事故や犯罪的なもの（不審者等）につきまして、学校への連絡の前に須賀川警察署への第一報をお願いします。

学校開放日） 7 6－5 1 3 6

学校休業日） ●●●－●●●●－●●●●

また、冬休みの課題や1月10日（火）の第3学期始業式の持参物や日程関係についても、ご確認ください。また、お子さまへのお声掛けをお願いします。

「時と場に応じたあいさつの必要性」について

先日、ある先生が本校にお出でになったとき、「この生徒の挨拶が気になります。」とのご指摘を受けました。具体的には「廊下ですれ違うときの挨拶の声の大きさ」「授業を参観するため教室に入ったときの挨拶の必要性」についてです。本校の生徒は休み時間等に、先生と廊下ですれ違う際、大きな声で「こんにちは。」と挨拶をし、授業中に教室に参観に入ったときも大きな声で「こんにちは。」と挨拶をしてくれます。「なぜ、廊下ですれ違う際にあんなに大きな声で挨拶するのですか。まるで相手を威嚇しているかのように聞こえます。あのような挨拶を好む人もいれば、好まない人も当然います。」また、「授業中にも関わらず、なぜあんなに大きな声で挨拶するのですか。せっかくの授業が途中で切れてしまいます。それだけ授業に集中していないことです。」とのことでした。私自身、今まで大きな声で挨拶をすることは良いことであり、本校の伝統であると思っていました。しかし、いろいろと考えると単純に全校生徒の半数の生徒は嫌に感じているのだらうと思いました。また、先日はある授業を参観したとき、同じ生徒が教室内で会うたびに「こんにちは。」と、正直私自身、「さっき、挨拶したでしょ、何回言っているの。」と生徒に伝えると同時に、何か小馬鹿にされているようにさえ思えました。この時初めて、先日来校された先生の言っていることが理解できました。

私は毎日朝の交通指導を行っています。事故防止はもちろんのことですが、生徒一人ひとりに大きな声で「おはようございます。」と挨拶をし、生徒の健康観察等も含め様子を見ています。全体的に声に出して挨拶のできる生徒は3分の1、声は出さなくても頭を下げる生徒・にこりと笑う生徒が3分の1です。残りの3分の1の生徒は完全に無視です。表情も変えずにただ通り過ぎるだけです。そこでいつも思うことは「部活動ではあんなに大きな声で挨拶できるのに・・・。」と疑問を感じます。

やはり、ここで考えてもらいたいのは時と場に応じた挨拶をうまく使い分けることの大切さです。私自身、挨拶はとても大切なことであり、今後社会に出れば当然必要なことです。将来仕事に就いたとき、間違いなく「挨拶のできる人はみんなから好かれ、気に入られます。」しかし、その人の今まで培った性格もありますので、すぐにはできません。やはり、中学生期の今からきちんと身に付けておかねばならないことです。挨拶は声の大きさと善し悪しは判断されません。挨拶をされる側がどう感じるかだと思います。心のこもった相手が嬉しくなるような挨拶をしてみたいのでしょうか。

ちなみに、授業中の来室者への挨拶は不要です。そのエネルギーを授業に集中させてください。また、挨拶に限らず、人が嫌がる言葉や行為は絶対にしてはいけません。

～本校ホームページのアクセス数が138万2千件を突破！いつもご覧いただきありがとうございます。～